

人事委員会議事録（第1644回）

1 開催日時

令和2年10月15日（木）10：20～11：30

2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

3 会議に出席した者

委員	松田直人	委員長
	鈴木尉久	委員
事務局職員	西村嘉浩	事務局長
	森本剛史	任用課長
	古川卓哉	給与課長
	岡野揮代美	任用課副課長兼総務審査班長
	小倉豊道	給与課副課長

開 会

長尾委員から欠席する旨の報告を受けたが、本日の会議は条例制定に伴う意見の決定等を予定していることから、地方公務員法第11条第2項に基づき会議を開催した。

第1号議案

議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1643回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

第2号議案

行政B（高卒程度）採用試験筆記試験合格者決定の件

任用課長が、標記試験の実施状況、合格基準及び合格発表日（10月16日）等を説明した後、同試験の合格者（案）を諮り、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

事務系職種で行う論文試験と作文試験の違いは何か。

（事務局）

論文試験は県政に関する一般的な課題を、作文試験はこれまでの経験等に関する課題を出題している。

第3号議案

障害のある人を対象とする採用選考試験筆記試験合格者決定の件

任用課長が、標記試験の実施状況、合格基準及び合格発表日（10月16日）等を説明した後、同試験の合格者（案）を諮り、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

精神障害者にはどのような障害名の受験者がいたのか。

（事務局）

発達障害、うつ、自閉症スペクトラム、統合失調症などの申告があった。

（委員）

障害の程度によって薬で症状を抑えることができ、健常者と変わらない場合もある。精神障害者と知的障害者を「障害のある人」と一本化して同一の区分で試験を行うと、知的障害者が不利にならないか。障害種別で試験を分けることも必要ではないか。

（事務局）

全国的に見ても障害種別ごとに試験を実施しているところはない。

（委員）

難しいとは思いますが将来的には検討して欲しい。

（委員）

現在の学力を重視した選考方法が適切かどうかは検証が必要である。

（委員）

点字による試験など、特別の配慮を求める人はいたのか。

（事務局）

拡大文字の希望者が1名いた。昨年度希望のあった音声パソコンの使用はなかった。

（委員）

配慮が必要な人に受験してもらえているのか。

（事務局）

今年度は、新たに特別支援学校校長会等に出向き試験内容の説明を行うなど、障害の程度等に係わらず多くの方に受験していただけるよう努めた。

第4号議案

職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定に伴う意見の件

協議事項1

職員の給与等に関する報告及び勧告の取扱い

給与課長が、本年の職員の特別給に関する報告及び勧告の取扱いを説明するとともに、標記条例の制定に伴う意見について内容等を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

人事院勧告が特別給の引下げを期末手当で行うとしたのはなぜか。

（事務局）

特別給に占める勤勉手当（民間の考課査定分）と期末手当（民間の一定率分）の配分

割合は民間ボーナスの割合を参考にしており、公務は民間と比べて、期末手当の割合が高いため、今回、期末手当を引き下げることにより、民間の配分割合に近づけたと考えている。

報告事項 1

兵庫県人事委員会勧告に対する申入れ

給与課長が、標記勧告の申入れについて報告した。

報告事項 2

職員勤務実態調査の実施

任用課長が、標記調査の実施内容を報告した。

(委員)

書面調査票の「ハラスメント防止の取組状況」の回答選択肢に「職場会議・職場研修で周知」とあるが、職場研修で適切に周知されているか把握できるよう、「職場会議」と「職場研修」の選択肢を別にしてはどうか。

(事務局)

「職場会議」と「職場研修」を区別した選択肢とする。

報告事項 3

兵庫県職員ガイダンスの開催

任用課長が、標記ガイダンスの開催について説明した。

報告事項 4

中央こども家庭センター加東分室の設置

給与課長が、標記分室の設置内容を説明した。

(委員)

県内にこども家庭センターは何カ所あるのか。

(事務局)

5カ所（明石市、西宮市、川西市、姫路市、豊岡市）ある。

(委員)

加東分室の設置場所はどこか。

(事務局)

県立播磨中央公園（加東市）の入口付近にある旧滝野町役場に設置される。

報告事項 5

任命権者が行った処分

任用課長が、警察本部長が行った1件の懲戒処分の内容及び理由を説明した。

閉 会